

私のすすめるこの1冊

古原 朋子 (附属図書館 非常勤職員)

『八つの日本の美意識』

黒川雅之 (著)

本書の紹介にあたり、著者について触れておきたい。黒川雅之氏は建築家、プロダクトデザイナーとして国際的に活躍し、独創的な作品群は、ニューヨーク近代美術館やメトロポリタンミュージアムを初めとする世界的美術館の永久コレクションに選定・収蔵されている。故・黒川紀章氏の弟として知られる一方、独自の思想と比類なき造形表現によって、多くの人々を魅了してきた。

私は大学 3 年次の専攻授業で、「日本庭園には、池泉回遊式庭園や石庭といった誰もが思い描く空間像があるように「日本公園」とはどのような空間であり得るのか「日本」を想起させる空間を設計せよ」という課題を与えられ、日本の文化・美意識について黒川紀章氏の『道の建築』^{ともいき}『共生の思想』他、多くの著作を通して考察を深めた。又、著者の『反対称の物理学』に出合い、私が本書を手にとったのは、社会人になってからだ。私自身、設計・デザインの仕事に携わる経験を通して感じたのは、分野を問わず探究を深めていくと、やがて人は同じような地点に立ち至るのではないかということだ。数学、哲学、生物学、物理学、更には芸術や文学に至るまで方法や言葉は異なっても、極限まで思考を押し進めた先で触れるものには、共通する神秘性があるように感じられる。学問とは知識を積み重ねる営みであると同時に、世界や存在そのものへの驚きに気づかされる過程であると思う。本書を読み進めながら、当時抱いていたその想いを強くした。

本書は設計・デザインの真髄を語っているが、専門分野に偏

ることなく、そうした「気づき」へと読者を導き、人と物、人と人に焦点を当てながら分野横断的な視点で「日本の美意識」を紐解いている点が非常に興味深い。よって、理系・文系を問わず幅広い視野を持つ全ての方に是非手に取って頂きたい一冊である。

本書の特徴は、著者の設計・デザインの経験を通して、自身の中に「日本の美意識」を探すことができ、「日本の文化や美意識」について、先人の参考文献を用いずに見解を綴っていることである。又、「微」「並」「気」「間」「秘」「素」「仮」「破」という八つのキーワードを抽出し、「日本の美意識」を読み解いている。それらは独立した概念ではなく、並列的に影響し補充し合う関係にあるという。最後の「破」が加わることで、調和や秩序を重んじる七つの美意識が、初めて生命の輝きを放つという指摘は、本書の核心である。

最後に著者は、自らが見出す「日本の美意識」について、自己主張を控え他者と融和し周囲を巻き込む高度な調和と、各自が心地よさを求めつつ奥深い気遣いで和・礼・義・人情を形づくると述べている。

これら「八つの美意識」を、どのように捉え、自分自身の生き方と結び付けていくのか、本書はその問いを読者に静かに投げかける。日常の中で自分自身を見つめ直し日本人が育んできた「美意識」「思いやり」「気遣い」の心を改めて感じる契機となる一冊である。



みんな知ってる？ 図書館のサービス:Web サービス編 その2



今回は Web サービスの内容を紹介します。Web サービスでは ①利用状況の確認、②貸出更新、③予約、④文献複写依頼、⑤図書借用依頼、⑥購入依頼ができます。①～③の内容を詳しく見ていきましょう。

① 利用状況の確認

- ・貸出(貸出中資料のタイトル、返却期限日などを確認できます。)
 - ・予約
 - ・複写依頼
 - ・貸借依頼
 - ・購入依頼
 - ・貸出履歴
- を見ることができます。



② 貸出更新

①で紹介した「利用状況の確認」から、貸出中資料の更新ができます。

貸出一覧を表示させ、貸出更新をしたい資料にチェックを入れて、「貸出更新」をクリックするだけです。

※返却期限内に1回のみ。延滞しているとできません。

※視聴覚資料、休暇貸出図書、予約のある図書はできません。



③ 予約

OPAC の検索結果で「貸出中」となっている資料に対して予約をすることができます。「予約」をクリックして、依頼情報を入力し、「申込」をクリックすると、依頼が完了します。

次号で④～⑥のサービスをご紹介します！今回ご紹介した Web サービスをどんどん活用してください。



在学生アンケート2026を実施します

附属図書館では学生利用者の皆さまの要望・評価を調査することを目的に利用者アンケートを実施します。よりよい図書館にしていきたいため、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【調査方法】アンケート用紙およびWeb フォーム
 【対象】新学部2回生以上の在学生全員
 【実施期間】3月23日(月)～4月30日(木)



ラーニングコモンズに情報処理センター(IPC)プリンタを設置しました

ラーニングコモンズの端末席近くに、情報処理センター(IPC)のプリンタを設置しています。印刷はポイント制で、IPC 端末にログインできる学生であれば利用可能です。**A4モノクロ印刷のみ**で、ラーニングコモンズおよびグローバルスクエアの端末から印刷できます。ぜひご利用ください。



新着電子BOOKのポスターを展示しています

新規に購入した電子書籍のポスターを、「新着図書コーナー」の横で展示しています。各ポスターの下側にあるQRコードは切り離し可能ですので、読みたい本/興味がある本があれば切り取ってお持ち帰りください。

なお、学外から電子書籍を利用する際は「学認でサインイン」を選択し、学内アカウントのID・パスワードを入力してください。



春季休業に伴う長期貸出について

学部生:1月28日(水)～4月2日(木)
 院生・教職員:1月14日(水)～3月19日(木)
 【返却期限日】4月17日(金)

京都教育大学
それはかなう夢講座

「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第50回の報告

YouTubeにて公開中!

【講師】大島 秀武(体育学科教授)

【テーマ】スポーツ科学を体育授業に活かす!

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

※今までの回も
視聴できますので、
ぜひご覧ください!



卒業・修了予定の方へ

1.貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は3月10日(火)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことにより、3月25日(水)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

※3月末に卒業・修了しない方で、貸出中の圖書の返却期限日が3月10日(火)の場合は、4月17日(金)に変更されます。図書館への申出は不要です。

2.卒業後の図書館利用について

卒業生利用者としてご利用いただけます。利用証の申請書は卒業式(修了式)で配布し、当日から利用証を発行できますので、ご希望の方はお申込みください。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

学修相談カウンター：学修支援員が作成したパスファインダーを発行しました!

パスファインダーとは、テーマごとに、学修に役立つ資料や調べ方などをまとめた「探し方の道しるべ」です。

学修支援員が各自の得意分野でパスファインダーを作成しました! 附属図書館にありますのでご自由にお持ち帰りください。HPでも公開しています。

学修相談カウンターでは、レポートや卒論などさまざまな相談を受け付けていますので、ぜひ気軽にお越しください!

【場所】北館2階ラーニング・コモンズ

Webフォームもあります。



時間が合わない、いきなり対面相談は緊張する...などの場合はフォームでの相談も受け付けています。



Web相談
フォーム

ご退職・ご転出予定の方へ

本学教職員の方の利用証は在職期間に限り有効です。

ご退職・ご転出予定の方は在職期間中に本をご返却ください。なお、今後も一般利用者として附属図書館をご利用いただけます。ご希望の方は申請してください。

展示案内 <報告>

『さんぼみち』小学校教科内容論音楽「記譜」課題作品展示 1月28日(水)から2月10日(火)まで、南館2階にて開催されました。



★好評開催中★

第13回京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー

2026年3月16日(月)まで ※本学は連携参加大学です

第9回ミュージアムロード スタンプラリー

2026年3月15日(日)まで



児童書コーナー(南館1階)

幼児教育科主催
えほんのもし

今月の絵本カード(学生作)

『おおきいとんとちいさいポン』

作・絵:いわむら かずお
出版社:偕成社



※児童書コーナーに
かわいいカードが
飾られています。
ぜひ見に来てくだ
さい。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【3月の開館日時】

・2日(月)、9日(月)、16日(月)、30日(月) 14:00~17:00

・25日(水) 9:30~12:30 ※卒業式

今月の逸品(1~3月)

『須恵器平瓶(すえき へいへい)』
(6世紀 京都府与謝野町出土)

展示場所:附属図書館

教育資料館 まなびの森ミュージアム

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>



論のくちび理のむすび

今回の執筆者 村上 登司文 (本学名誉教授)

戦後80年目における中学生の平和意識 —平和意識調査の時系列的分析—

村上 登司文

京都教育大学紀要 2025, No.147, pp.107-124
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9958>



戦争を防ぎ平和を創るにはどうすれば良いのでしょうか。現在はヨーロッパや中東以外でも紛争が頻発し、国際政治が大きく変化し、紛争や戦争の情報がネット上にあふれています。2020年代に入って、過去の戦争体験を対面的に伝える日本の平和教育は転換期にあります。本論文は、中学生に対する4回の意識調査(1997年から2025年)に基づいて、平和教育のあり方を提案しています。

平和主義を掲げる日本国憲法の下で、中学生達は平和主義的意識を育んできました。ただし調査の期間を通して、正義の戦争論への反対や、戦争をおこなうべきでないと思う生徒の意識が、少しずつ弱くなる傾向が見られました。特に2025年の調査において、反戦平和的意識の低下が顕在化しました。

戦後80年目となり、曾祖父母を含めた戦争体験世代の不在化がさらに進み、戦争体験者は継承エイジェントとしての役割を大きく低下させました。戦争体験を継承するメディアとして、生徒たちには、ニューメディア(パソコン、スマホ、VR)の利用が視野に入っています。学校の平和学習でもインターネットが活用されており、彼らが接するネット掲載情報(ウェブ情報)の充実が必要となっています。フェイクニュースがあふれている現在のネット状況では、メディアリテラシーの修得が求められます。生徒たちは戦争に反対し平和を求める意識を強く持っているので、できるだけ彼らに寄り添う姿勢を持ちたいと思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要147号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00
■9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2026年3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3/4 館内整理日
3/12 後期入試
3/25 卒業式

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2026年4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4/7 入学式
4/10 前期授業開始

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(二次元コード→)



京教図書館 News No.306 (2026年3月号)
発行日:2026年3月2日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp